

平成 27 年度土木学会全国大会(岡山大学)

国際関連行事開催報告

2015 年 9 月 16 日～18 日、岡山大学津島キャンパスにて平成 27 年度土木学会全国大会が開催された。その一環で開催された国際関連行事について報告する。なお、各行事の詳細報告は、別途国際センター通信に掲載予定である。

◆特別討論会 (9/16 10:20～12:20 開催)

今回の特別討論会を企画した、大内雅博教授（高知工科大）の司会で、若手からシニアまでの元留学生 10 名が自らの経験を踏まえ、日本の土木に対する忌憚のない注文を寄せた。日本の若い技術者もプロフェッショナルエンジニアであることを自覚し、積極的に海外に行くべきであるとの意見も出された。

◆国際円卓会議 (9/16 13:30～17:00 開催)

廣瀬土木学会会長提案の「ビッグデータ時代の社会資本の整備－持続可能な社会を目指して」をテーマに国際円卓会議が開催された。小池俊雄教授（ICHARM センター長）がモデレータ役を務め、喜連川優教授（国立情報学研究所所長）が「ビッグデータの現状と将来展望」と題する基調講演を行った。その後、参加した海外の協力協定学会や分会からビッグデータ利用の現状および課題に関する報告があり、議論を行った。



話題提供した元留学生集合写真



国際円卓会議の様子

◆第 17 回インターナショナルサマーシンポジウム

(9/16・17 9:00～12:00 開催)

若手技術者や留学生、土木学会学術交流基金の助成で来日した Study Tour Grant 参加者 5 名を含めて 56 件の論文発表があった。会場では留学生の姿が目立った。日本人学生のさらなる参加を期待したい。

◆国際若手技術者ワークショップ

(9/16 13:30～17:00 開催)

土木学会創立 100 周年記念事業の一環として始まった若手技術者ワークショップが今年も開催された。日本に留学中の 24 名が参加し、「なぜ日本に来たのか」をテーマにグループ討論や発表を行った。



国際若手技術者ワークショップ参加者集合写真

【記：土木学会国際センター】